



【活動目標】支援現場での三障害一元化を目指し、障害者の存在それ自体を我が事とする価値観をもって、諸事業に真摯に取り組めます

障サ協
広報紙

山口県障害福祉 サービス協議会通信

発行：山口県障害福祉サービス協議会 広報委員会 〒753-0072 山口市大手町9番6号
電話：083-924-2799 FAX：083-924-2798 メール：syougai@yg-you-i-net.or.jp

会員事業所紹介（第9回）

「しあわせ」の輪を広げて自立を支援する

就労継続支援A型事業 しあわせ

広報委員が会員事業所を訪問し、支援現場の雰囲気や職員の利用者との関わり、事業所の特色やアピール点、課題や悩み等についてお聞きする会員事業所紹介です。

今回は光市の株式会社皆援隊「しあわせ」です。感染予防のため、リモート取材で管理者の宮崎哲治さんにお話を聞かせて頂きました。

1. 開所の経緯をお聞かせください。
宮崎：平成27年4月に株式会社ダスキンせらいの100%出資の子会社として開設されました。障害者支援に熱心なオーナーでもっと障害者の方の役に立てないか考え、就労継続支援A型事業なら最低賃金を保証して働いていただけるし、県内の事業所数も少ないので社会的意義もニーズもあると。

当時私は勤続20数年の支店長で障害者就労については全くの素人でしたが、オーナーに「お前やってみろ」と背中を押されダスキンに籍を置きながら事業を立ち上げて「しあわせ」の開設に至りました。開設にあたっては色々な事業所を見学し、支援現場を学ばせていただきました。

2. 利用者の人数や特性などをお聞かせください。
宮崎：現在、A型事業で23名（20歳～63歳）の方が利用されています。内訳は、精神障害の方が12名、知的障害の方が7名、身体障害の方が3名、難病の方が1名です。

また、就労定着支援事業では「しあわせ」を卒業された6名の方の定着支援を行っています。

3. 障害特性に応じた対応や配慮など支援の工夫を教えてください。
宮崎：便利屋事業は主に外での作業です。内職系の仕事は外作業が行えない身体障害の方に携わってもらいます。

また長時間働けない方には午前中のみ、週5日の勤務が難しい方には週3、4日の勤務。多様な働き方のニーズに対応しています。

4. 事業所で大事にしていることはありますか。
宮崎：利用者に向けた「しあわせ・三つの約束」を壁に貼っています。「挨拶」自分から先に、元気よく。「返事」「ハイツ」とはつきり。「後始末」使ったものはキレイにしてから元に戻す。一般就労を目指すためには大切なことです。

5. 事業所の特色やアピール点を教えてください。
宮崎：障害者だからといって安いけれども低品質の仕事は絶対にやるまいと肝に銘じやってきました。

この6年間で延べ800件近いお客さんにご利用いただき、約40%がリピーターです。顧客アンケートでも90%近いお客様から「満足」「また利用したい」と回答いただいています。

開設当初は、仕事がなく日々仕事をどう確保するか、毎日本当に苦心していました。現在は、ほぼ営業活動をすることなく仕事をいただいています。

平成30年から営農事業も始め、今は自社栽培の野菜で漬物を作る6次産業化を目指しているところです。

6. 地域との関わりで取り組んでいることはありますか
宮崎：設立時に事業所を借りようとしたら「暴れて部屋が壊れたら大変だから貸せない」と言われたことがあったんです。特に精神障害の方へは「暴れたりするんじゃないの?」と言われたり。でも、仕事の依頼者の年配の方に「あなたたちが一生懸命



野菜作り（主に漬物用）



漬物製造（自社栽培野菜）



しあわせ

設置法人：株式会社皆援隊
実施事業：就労継続支援A型、就労定着支援事業
管理者：（代表取締役）宮崎哲治
〒743-0011 光市光井1-12-11
TEL.0833-44-9444 FAX.0833-44-9450